

NetAppのエンタープライズレベルのストレージ機能が
クラウドネイティブでも使えたら...

使えます!

Kubernetesのフレームワーク内でエンタープライズレベルで必要とされる永続ボリュームを実現するNetApp Tridentと、クラウド・仮想・コンテナで開発・本番・運用をサポートするC-Native Professional Serviceの組合せが、クラウドネイティブなintelligent data infrastructureを実現します。

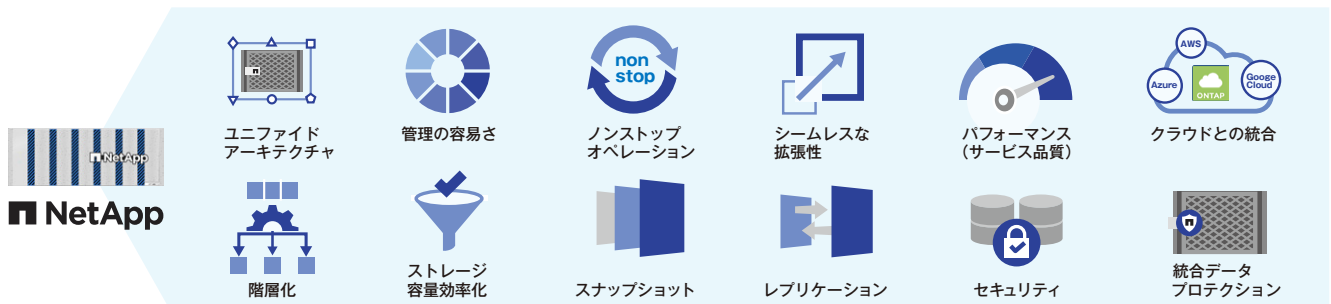


クラウドネイティブな
intelligent data
infrastructure?

環境・用途に対応できる
エンタープライズ機能を
備えたストレージインフラ

- ▶ Kubernetesのフレームワーク内で使えるエンタープライズレベルの永続ボリュームを自動プロビジョニング
- ▶ マルチプロトコル、ハイブリッド・マルチクラウド、RWX、あらゆるワークロードに対応
- ▶ 暗号化、レプリケーション、容量効率化などのエンタープライズ環境に必須のストレージ機能

NetAppがKubernetes環境にもたらすデータ管理のモダナイズ



NetApp
Trident



Kubernetesを補完

Kubernetesの永続ボリュームを補完するストレージ機能：
スナップショット、クローン、レプリケーション、セキュリティ、マルチテナント など

マニフェストで運用

Kubernetes運用と同じフレームワークで永続ボリュームを運用
クラウドアーキテクト、コンテナエンジニアに優しい

CaaS (Container as a Service)

コンテナ向けクラウドサービス、
AI 開発環境などの大規模な採用事例多数あり

サポート

オープンソースのコミュニティベースのサポートではなくネットアップの
テクニカルサポートで手厚い対応

Red Hat OpenShift

Red Hat OpenShiftに対応したRWXな永続ボリューム
コンテナにも仮想マシンにも対応

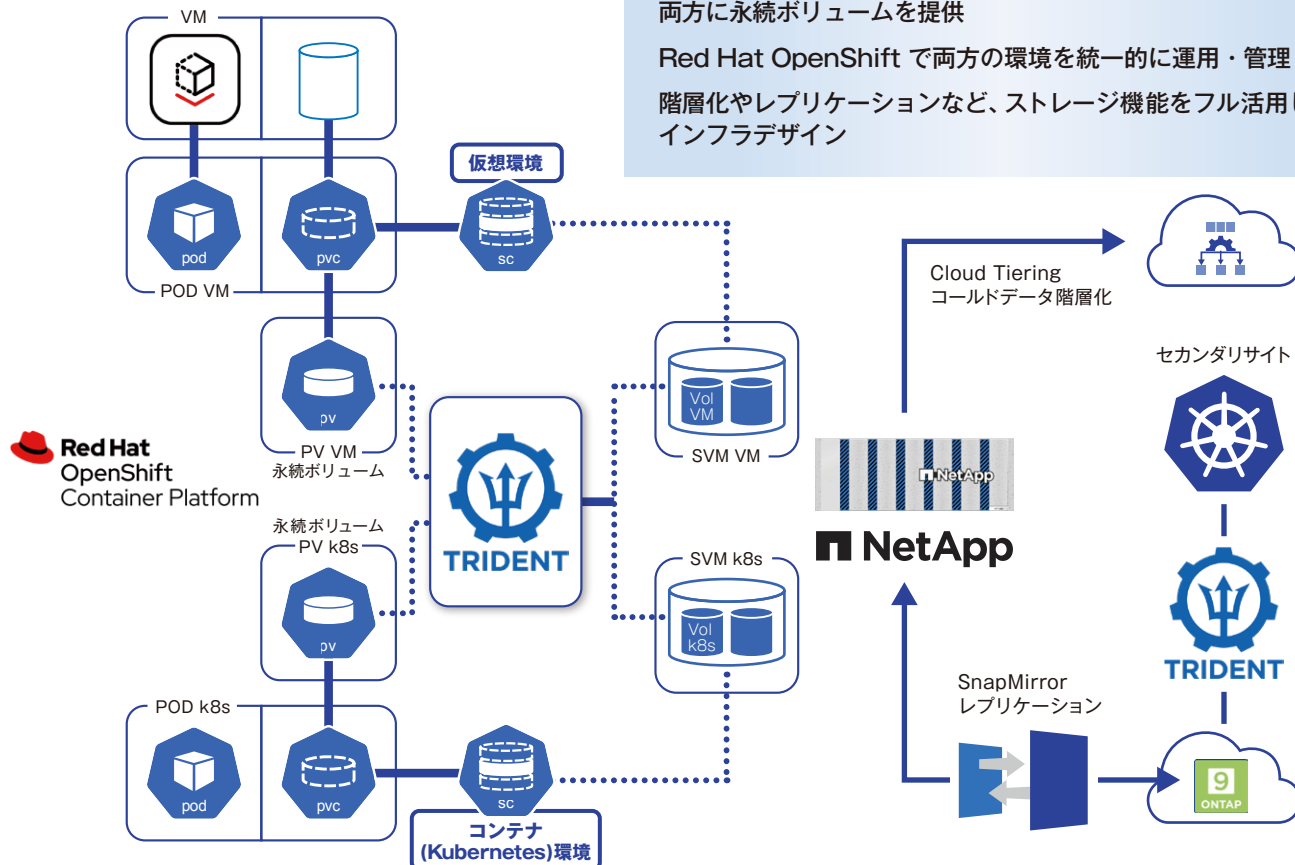
NetAppと Red Hat OpenShiftの組合せ

モダン・クラウドネイティブ

NetApp Tridentが仮想マシン環境と Kubernetes 環境の両方に永続ボリュームを提供

Red Hat OpenShift で両方の環境を統一的に運用・管理

階層化やレプリケーションなど、ストレージ機能をフル活用したインフラデザイン



クラウドジャーニーを支える

C-Native Service

Red Hat OpenShiftならお任せください!

C-Nativeは、クラウドネイティブ技術を活用し、企業のDXを支援するサービスです。コンサルから運用・保守まで一貫してサポートし、柔軟で迅速なITシステム構築を実現します。



C-Native Professional Service

Red Hat OpenShift

OpenShift インテグレーションサービス

◆サービス提供時間

平日営業日 9時～17時

◆サービス内容

要件定義レビュー
設計書(基本・パラメーター)テンプレート提供
設計書(基本・パラメーター)レビュー
インストール作業
単体テスト作業
運用設計、各種ドキュメント作成
追加テスト
単体テスト以後工程の対応・支援
C-Nativeテンプレート・成果物へのカスタマイズ要件・追加要件
要件定義工程への参画

作業スコープに関してはプロジェクト毎にカスタムが可能です。

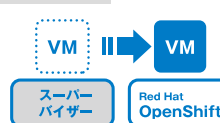
Red Hat OpenShift Virtualization

OpenShift Virtualization 支援サービス

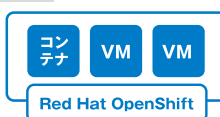
PoC 支援



移行支援



構築



技術・教育サポート

